

事業報告

事業名	令和3年度第2・3回屋久島研究講座	事業体系	環境学習事業
期 日	令和3年11月6日（土）13：30～17：00 11月7日（日）13：00～16：20		
場 所	屋久島総合センター（安房）及びオンライン		
対象者	すべて	参加者数	第2回 会場77名 YOUTUBE45名 第3回 会場56名 YOUTUBE56名 (内受講証明書 発行2回14名3回9名)
<p>(概要)</p> <p>1 演題 屋久島憲法100周年記念シンポジウム</p> <p>2 内容</p> <p>第2回（11/6）</p> <p>1時30分～2時20分</p> <p>三木 靖氏（鹿児島国際大学名誉教授、2020年度鹿児島県県民表彰受賞） 「屋久島憲法100周年——『上屋久町郷土誌』編纂過程から見える屋久島像」</p> <p>2時20分～3時10分</p> <p>小島孝文氏（林野庁九州森林管理局長） 「屋久島憲法と屋久島国有林の経営について」</p> <p>3時20分～4時10分</p> <p>遠藤日雄氏（元鹿児島大学教授／NPO法人活木活木（いきいき）森林ネットワーク理事長、高知県立林業大学校特別教授） 「離島経済の振興を森林・林業・木材産業の視点から考える」</p> <p>4時10分～5時00分</p> <p>枚田邦宏氏（鹿児島大学教授） 「入会林野の変遷と今後のあり方」</p> <p>第3回（11/7）</p> <p>1時00分～1時50分</p> <p>金 仁周氏（日本工営(株) 開発・運営事業部専門部長） 「屋久島のバイオマス資源利用の可能性」</p> <p>2時40分～4時20分 総合討論②「屋久島憲法100周年——レガシーの継承」</p> <p>3 アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからは行政だけに頼るのではなく、地域に住む人々が話し合って屋久島の森の利用の仕方を考えていくことも大事だということ ・屋久島憲法ができて100年が経ち、時代の流れとともに再考しなければならない問題が提示され、有意義だったと思います。特に、小島孝文氏（林野庁九州森林管理局長）の屋久島国有林全体の経営の指針として屋久島憲法を捉えているという発言は印象に残りました <p>※ 屋久島町エコツーリズム推進協議会登録ガイド更新条件の対象となっています。</p>			
資料等	なし		